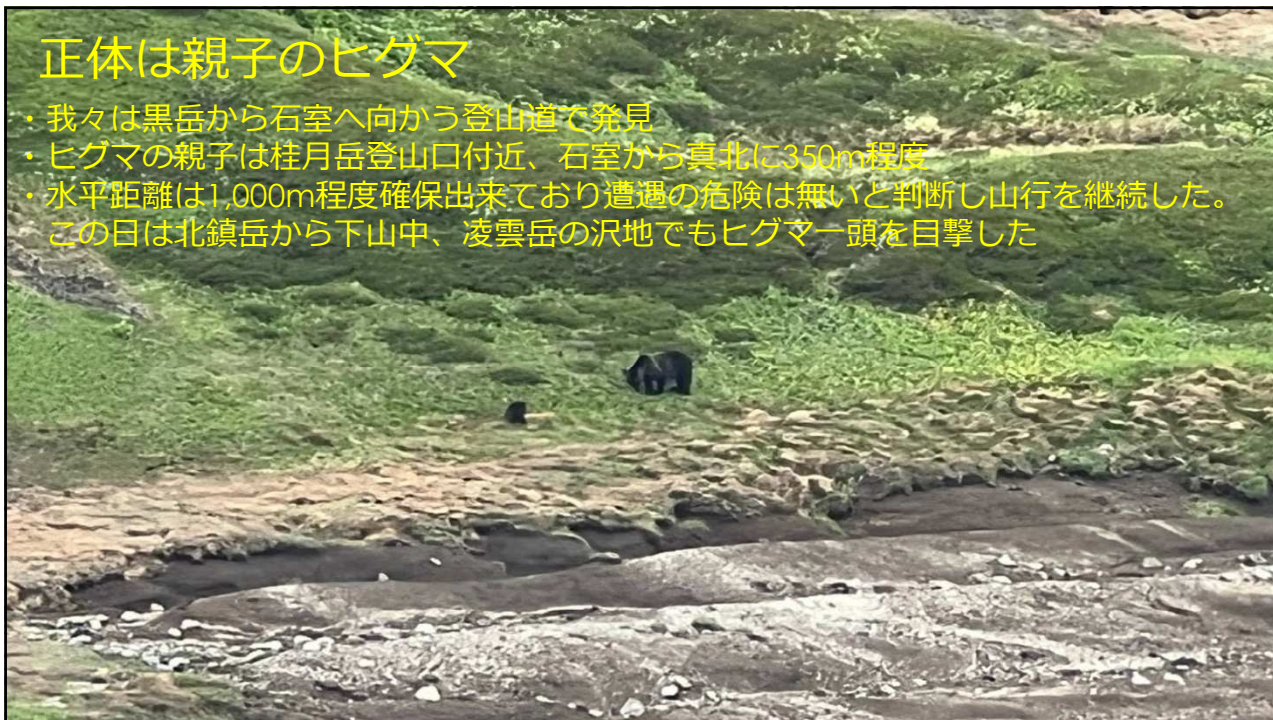




正体は親子のヒグマ

- ・我々は黒岳から石室へ向かう登山道で発見
- ・ヒグマの親子は桂月岳登山口付近、石室から真北に350m程度
- ・水平距離は1,000m程度確保出来ており遭遇の危険は無いと判断し山行を継続した。
この日は北鎮岳から下山中、凌雲岳の沢地でもヒグマ一頭を目撃した



しかし、北鎮岳からの帰路「雲の平」に人だかり...。
親子熊がハイマツの中に潜んで動かないとの事。
しばらく待ったが動きが無いので、熊鈴とホイッスルを吹きながら接近した。
親熊が気づき頭をもたげ、周辺を警戒、目と目が合った時
逃げ出したいくらいの恐怖感。。。
しかし、熊遭遇時の鉄則は、ヒグマと目が合ったら自は離さない。

後ろ向きで背走するとヒグマは追い掛ける習性なのでNG。
止むを得ず、熊と目を合わせたまま後ずさりし距離を取った。
その後、しばらく待っても熊は動かない。
待機していた多くの登山者たちは笛と鈴を鳴らしながら親子熊が居る登山道の
脇を通過しはじめた。
最後尾を担った私も無事通過できた。
山頂で監視員に聞くとハイマツ帯で子熊に授乳をしていたとの事。



北海道

北海道トップ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/208217.html>

ヒグマの「大きさ」はここを計測!

- 体長** 鼻先からお尻までの長さ
- 足跡** 前足の幅の長さ



人里周辺で、ヒグマや痕跡を発見した時は、**警察**または、**市町村役場**にご連絡ください

ヒグマに注意! SNSやアプリなどの登録を

北海道では、近年、市街地にまで姿を現すヒグマが問題となっています。北海道では、ヒグマが頻りに市街地に出没したり、ヒグマによる人身事故が発生した場合に「ヒグマ注意報」「ヒグマ警報」を発出し、SNSなどを活用して情報発信しています。ぜひ、ご登録いただき、ヒグマの出没に備えましょう。

登録して備える



北海道庁公式
Twitter
@PrefHokkaido



Yahoo!
防災速報



北海道庁HP
ヒグマ注意報

あなたとヒグマの共存のための

ヒグマとのおつきあい

北海道の多くの地域はヒグマの生息地です。



北海道環境生活部



北海道

北海道トップ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/208217.html>

ヒグマを正しく知ろう! - 環境生活部自然環境局

ヒグマの生態

- 聴覚** 聴力に優れ、音に対しては敏感。
- 視覚** 昼夜を問わず行動できる視力を持ち、目は決して悪くはないのだが、あまり遠距離の物はよく見えにくい。
- 嗅覚** 嗅覚で、埋めた糞などもすぐに嗅ぎつけます。
- 性格** 群れを作らず単独や親子で行動。大半のヒグマは警戒心が強く、人を避けて生活しています。
- 運動能力** 自律の動作は非常に機敏。その気になれば一撃で牛を倒す事もできます。



人の活動での注意

- 出沒地域に住む人** ヒグマを引き寄せる生ごみなどを屋外に置かないようにしましょう。出沒情報がある時は、夜間や薄暗い時間帯の外出を避けましょう。イヌの散歩は、吠え声でヒグマを興奮させる恐れがあり危険です。
- 山菜採り** 山菜はヒグマの生息地に生えていることが多いので、単独行動を避け、音を出しながら行動しましょう。
- キャンプ** ヒグマの痕跡のあるところでは、キャンプをしないようにしましょう。
- 登山** 山はヒグマの生息地です。どこでも遭遇すると思えましょう。特に、早朝や日没頃の行動はヒグマと出遭う確率が高くなります。
- 溪流釣り** 水流の音でヒグマも人もお互いに気づきにくくなっていますので、より注意を払っていきましょう。

ヒグマの1年

冬眠・出産	冬眠明け	子グマの親離れ繁殖期	山野のエサが少なく農業被害を起こすことも	冬眠準備	冬眠						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

事故多発

ヒグマとの事故をなくすために

登山・ハイキング・山菜採りなどでヒグマに出遭わないための行動

- ヒグマの出沒情報を事前に調べよう!** 市町村のホームページ、SNS、新聞、テレビ、ビジターセンターなどでヒグマの出沒情報を確認しましょう。
- 音を出しながら歩きましょう!** 単独で行動せず、複数人で会話しながら歩くと、ヒグマも人の存在が気づきやすくなります。また、鈴を付けたり、見通しの悪い場所では、手を叩いたり、笛を吹くのもポイントです。
- ヒグマの痕跡を見つけたら** ヒグマの足跡、フンや食痕に注意し、見つけたら、安全のために引き返しましょう。



ヒグマに出遭ってしまった場合


- 遠くにヒグマを見つけたら** 落ちついて状況を判断してください。ヒグマがこちらに気づいていないなら、その場から静かに立ち去りましょう。
- ヒグマがこちらに気づいたら** ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。あわてることは事故につながります。まず落ちつくことです。普通にしていれば、ほとんどのヒグマは立ち去るはずですよ。
- 走って逃げるのは自殺行為** ヒグマを刺激しないことです。まず落ちついてゆっくりと後ずさりしてヒグマから目を離さず、その場から離れましょう。
- 子グマの後ろに必ず母グマあり** 子グマを見つけたら絶対に近づかず、すみやかに立ち去ってください。母グマは子グマを守ろうと攻撃してきます。
- 100%完全な対応ではないですが** 北米では、首の後ろを手で覆い、地面に伏して、頸部、後頭部への致命傷を防ぐ方法を勧めています。道内の死亡事故でもこの部分が致命傷となっている事例がみられます。攻撃を止めるためには、クマ撃退スプレーが有効です。

ほんのうの話

人がヒグマを引きつける? ヒグマは食べ物の執着が非常に強い動物です。生ゴミ(コンポスト含む)や果物、干し魚などの人の食べ物の味を覚えてしまうと、それを自当てる家の近くに繰り返し接近し、人を恐れずに行動するようになります。ヒグマの出沒地域に住む人や野山に出かける人は、十分に注意し、危険を避けましょう。



コンポスト さくらんぼ



札幌市
City of Sapporo

野外活動での注意点

▶ <https://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/yagai.html>

ヒグマの生態

生息している場所
ヒグマは北海道内の森林に生息しています。札幌市内では、山間部はもちろん、市街地に近い藻岩山や円山に出没することもあります。

ヒグマの一生
メスは冬眠期間中に2〜3頭出産し、子グマは1歳半〜2歳で母グマから独立します。5〜7月ごろ、繁殖期となり、オスはメスを求めて移動します。オスは単独行動をします。

ヒグマのからだ

体重 オス 150〜400kg メス 100〜200kg <small>(※最大で300kg位)</small>	体長 オス 約2.0m メス 約1.5m	嗅覚・聴覚 嗅覚と聴覚が発達しています。
--	-----------------------------------	--------------------------------



前足
5本指で長いツメを持っていて、ツメは食べ物を探るために爪を引っかき、石を動かしたりと、日常生活のあらゆることに役立ちます。

ヒグマの食べもの
ヒグマは雑食性です。大きな体を維持するために、春から秋にかけて、その時に最も手に入りやすい食べ物を大量に食べます。



- フナ**：フナやゼリ科などの植物を食べます。
- オオハヤブ**：夏から秋にかけての植物を食べます。
- サルナシ**：オニグルミ科はクワミドリやドングリをたくさん食べます。

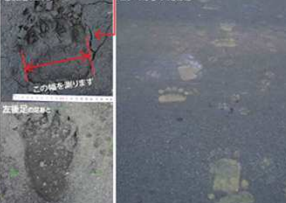
ヒグマの痕跡

ヒグマのフン
ヒグマは食べ物を上手に消化できません。そのため、ヒグマのフンは食べたものが、ほとんどそのままの臭いと形で出てくるのが特徴です。



- オニグルミを食べた熊のフン**
- サルナシを食べた熊のフン**
- アリの巣を食べた熊のフン**
- 草の食料を食べた熊のフン**

足あとの見分け方
ヒグマの足あとには5本の指がつきます。多くの場合、前足の足あとには爪の跡も残ります。前足の幅の大きさによって、おとなのオス、あるいは子グマかどうかを区別できることがあります。札幌近郊では8cm(子グマ)〜19cm(オス)が確認されています。



右前足跡と、ヒグマが歩いたあと

この跡を辿ります

左後足跡と

Brown Bears in your neighbors:
Do you know about them?

ヒグマのフンと
知ってますか?

札幌市内の山や森にもヒグマが生息しています。ヒグマはときに危険な存在となりますが、ヒグマのことをよく知ることで事故を防ぐことができます。



SAPPORO



自動撮影装置で記録されたヒグマ写真
撮影地区：豊平市民の森 / 撮影日時：2019年9月24日 14時27分



札幌市
City of Sapporo

野外活動での注意点

▶ <https://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/yagai.html>

大雪高原沼ヒグマ情報センター
<https://www.higuma-center.com/blank-1>

ヒグマとの事故を避けるために

ヒグマと出遭わないようにすること!

野山に入るときは、事前にホームページや現地の看板などで出沒情報を確認しましょう。ヒグマの生態や食性を知り、出沒する時期、時間、場所を避けましょう。

- 野山や林に入るときは、音を出しながら歩きましょう。
- 入山するときは、クマ警退スプレーや鈴、ホイッスルなどを携帯しましょう。
- ヒグマのフンや足跡などを発見したら引き返しましょう。

ワンポイント
多くのヒグマは、人を避けて行動しています。音を出すことでヒグマが人の存在を知り、多くの場合はヒグマが先に去っていきます。



ヒグマを人里に引き寄せないために...

- 食べ物のごみは、野山に捨てたり埋めたりしないで持ち帰りましょう。
- 生ごみを野外に放置したり、夜間にごみステーションへ、ごみを出したりしないようにしましょう。ヒグマが、生ごみや農作物などの味を一度覚えたと、それを目的に繰り返し出沒するようになります。



ワンポイント
ヒグマが立ち上がるものは、多くの場合、用器のようすうかがうための行動です。威嚇しているわけではありません。

もしヒグマに出遭ってしまったら...



- 大声を出したり、走って逃げたり、石を投げたりは、絶対にしてはいけません。
- 落ち着きましょう。多くの場合は、ヒグマが先に立ち去ります。
- ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。

- 背中を向けて走ってはいけません。本能的にヒグマが追いつけてきます。
- 子グマを見つけたら、近くに母グマがいるので、近づかず、立ち去りましょう。

ワンポイント
ヒグマが立ち上がるものは、多くの場合、用器のようすうかがうための行動です。威嚇しているわけではありません。



市民の皆さまへお願い

ヒグマの出沒情報は
札幌市のホームページで確認しましょう。または、最寄りの区役所までおたずねください。

問い合わせ先



<札幌市>
ホームページ... <http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/>

<区役所>

中央区役所	011-231-2400
北区役所	011-757-2400
東区役所	011-741-2400
白石区役所	011-861-2400
厚別区役所	011-895-2400
豊平区役所	011-822-2400
清田区役所	011-889-2400
南区役所	011-582-2400
西区役所	011-641-2400
手稲区役所	011-681-2400

ヒグマを目撃したり足跡やフンを発見した場合は
110番へ通報してください。

ヒグマのことをもっと知りたい方は
札幌市のホームページでは、ヒグマの生態や行動習性などについても説明しています。また、過去の調査報告書なども読むことができます。ぜひご覧ください。

発行：
札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課
札幌市中央区北1条西2丁目
電話番号：011-211-2879
FAX番号：011-218-5108

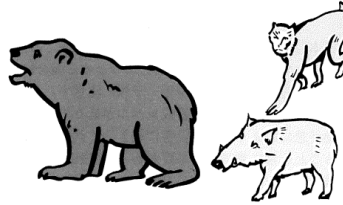


さっぽろフィールドサインハンドブック
表背表紙 [OL](#)

3 注意すべき動植物

人が山で動植物から被害を受けないようにするには、それらの動物の生息域、ハチの巣、植生域に不用意に近づかないことが基本である。

マムシ(広く全国)、ヤマカガシ(北海道にはいない)、ハブ(沖縄県)などの毒蛇は、草むらや水辺に潜んでいて、不意に出遭うと咬まれる。棒やストックなどを草むらへ先行させて、蛇が逃げるように仕向けながら、慎重に進む。



(3) ハチ

スズメバチは、巣から一定の範囲を偵察バチが警戒のために飛び回っている。もしスズメバチに遭遇したら、それは近くに巣があることを意味している。偵察バチを刺激しないように、静かに引き返す。結果として巣に近づくと、スズメバチは集団で襲ってくる恐れがある。スズメバチ以外にもハチ毒はアレルギーとしてアナフィラキシーショックを引き起こして呼吸困難など致命的な状態になることがある。ハチに刺されたら、速やかに医療機関に移す。

ツタウルシ



歩き方と山の危険

目指す山によっては目標に向けてレーニング
複合的技術の習得も必要です

山は好天ばかりではありません。
天候により山の難易度は一気に上がり
⇒山の表情は豹変します

天気予報・山行前後の天候調査・雲の動き etc
⇒進む勇気、退く勇気が試されます

